

(第1号様式)

番 号
平成 年 月 日

社会福祉法人奈良県社会福祉協議会
奈良県中央善意銀行
頭取 柿本善也様

住 所 奈良市大安寺1-23-1県解放セオ-2階

団体名 特定非営利活動法人 ほっとねと

代表者名 伊藤 満



平成 年度奈良県中央善意銀行助成金の申請について

標記の件について、下記の関係書類を添えて申請します。



記

1. 事業申請書 (様式1)
2. 当該事業収支予算書
3. 団体の事業計画・予算書

(様式1)

奈良県中央善意銀行頭取 柿本善也殿

奈良県中央善意銀行助成金申請書

グループ名	特定非営利活動法人 ほっとねっと				
住所	〒630-8133 奈良市大安寺1-23-1 県解放センター2階				TEL0742-64-0015
代表者氏名	伊藤 満				
住所	〒633-0067 桜井市大福171-2				TEL090-2356-4748
連絡責任者名	寺前 美加				TEL090-8233-9172
団体分類	1任意団体 2NPO 3社会福祉法人 4財団法人 5その他				
設立年月日	2002年3月30日	会員数	個人66 団体10	活動年数 5年	
活動状況	<p>「人権がさまたげられることのない社会づくり」の観点から、主に6つの事業を行っている。</p> <p>1. ニート、引きこもりなど困難を抱えた若者支援事業(居場所、就労支援) 2. 冒険遊び場「ひーとびーとの森」運営 3. 水平社博物館とその周辺地のガイド 4. 情報弱者へのIT推進(ネット構築、パソコン教室) 5. ワークショップ形式の人権研修 6. 電話・メール・面接による人権相談</p> <p>7. 環境・平和問題啓発イベント「アースデイ」の開催</p>				
本年度の予算(収入)	4200000 円		(支出)	4060000 円	
事業名	就業など社会参加が困難な35歳以上の無業者、軽度発達障害等障害者、シングルマザーのための自立支援				
助成申請金額	144000円				
対象者	「ニート」「フリーター」「引きこもり」の定義から外れる無業者、臨時雇い者など 35歳以上の無業者、軽度発達障害者・高機能自閉症・アスペルガー症候群・うつ病者の無業者、母子家庭の無業または臨時雇いの母親				
実施場所	奈良カフェ「由庵」2階、貸し部屋スペース(奈良市高御門町13-1)				
実施時期	2007年7月～2008年3月				
目的	「ニート」「引きこもり」「フリーター」の定義から外れて今のところ、公的支援や民間地域支援の対象となりにくく、かつ社会疎外が深刻で支援を必要とする人たちの存在を多くの人に認識してもらい、地域支援・職域支援ネットワーク構築の素地づくりをする。				

5. 事業計画(具体的に記入)

7月

☆中小企業団体・人材派遣業者・関係機関など関係者へのレクチャー

・要支援者の特質と社会の現状、解決策、支援方法などを、支援の主会場となるカフェ「由庵」で説明、理解を求める。

(関係者の都合を聞き、2、3回程度予定)

☆当事者へのカウンセリング

・支援の主会場となるカフェ「由庵」で毎週月曜日午後1時～午後5時、カウンセリングを開催

8月～9月

☆就労・社会参加態勢の整備、広報

・県内中小企業の求人情報収集と同時に当事者の求職状況の発信態勢を整備

・人材派遣業者による主会場「由庵」での登録会開催態勢の整備

・パソコン等各種教材の整備

・県内NPO・NGOとの支援ネットワーク構築

・マスコミ、公共機関、メールマガジン等による広報

・サポーターなど関係者相互の学習会開催

10月～3月

☆毎週月曜日午後1時～午後6時、パソコンフリースペース・パソコン教室開催

・パソコンを設置したカフェ「由庵」の2階の貸しスペースで、自由に過ごしてもらうことを基本としながら、就業や様々な活動に向けて、パソコンの検定試験対策教材を使用したり、日々の生活相談にも乗る。また、ニーズに応じて他の分野の検定試験対策の講座や実務講習、NGO活動などボランティア活動のレクチャーも開催。

☆毎月第4月曜日午後6時～午後7時、就業など相談、派遣登録会開催

・「グッドウィル」など人材派遣会社数社の地元支店から参加してもらい、当事者が各社に登録。当事者のスキルアップ、希望職種変更などに応じて毎月登録内容を更新できるようにする。必要に応じてキャリアカウンセリングも実施。

☆当事者の就業、社会参加に向けての個別支援を随時開催

○毎回なるべく、カフェの周辺住民やカフェ店主、企業人、人材派遣業者、他団体のサポーターなどに参加してもらい、当事者への理解を深めてもらい、社会参加への支援に関わってもらえる地域コミュニティの態勢づくりに努める。

6. 期待される効果

・中小企業や人材派遣業者などに「ニート」「フリーター」の定義から外れる就業困難者(35歳以上、シングルマザーなど)や、軽度発達障害やアスペルガー症候群、高機能自閉症、うつの症状などのために就業など社会参加しづらい人たちについての理解を深めもらうことにより、当事者の就業・社会参加を推進させることが期待される。当事者の困難や障害について理解を求めだけでなく、優れた特長についてもレクチャーや当事者と接することで認識してもらい、会社・社会で当事者を生かすことで会社・社会の発展につなげてもらえるきっかけとなることが期待される。

・会場となるカフェ「由庵」は奈良市内の旧市街で、観光スポットとして注目を浴びている「ならまち」にあり、店長に周辺住民や客にこの取り組みを紹介してもらうことにより、当事者や当事者をとりまく社会の現状を多くの人に知ってもらい、当事者に社会参加してもらいやすい社会の素地づくりの一助となることが期待される。

・当事者は就業や社会参加が困難なことで日々、非常な重圧感があり、心を閉ざしがちなことが多いが、定期的に安心でき、なおかつ就業に向けたアクションができる場所が開設されることで前向きな気持ちを持ち続けることが可能となる。また、中小企業者や人材派遣業者、就労関係機関の人と毎回のようにやりとりをすることによって、より具体的に就業や社会参加を促進する効果が期待できる。

添付書類
 会則・規約等 役員名簿、会員名簿 会報・チラシ等
 前年度の事業報告、決算書 当年度の事業計画、予算書
 その他()

申請事業収支予算書

〈収入〉

区分	収入予定額	内訳
自己資金	22000	
参加費収入	36000	500円 × 3人 × 24回
助成金	144000	
寄附金	5000	
合計	207000	

〈支出〉 *科目ごとに分類し、単価 × 数量 × 回数 = ○○○円のように記入すること

区分	支出予定額	内訳
謝金	96000	相談員を兼ねたパソコン指導員 4000円 × 1人 × 24回
旅費交通費	36000	レクチャー・会議 関係者交流費 2000円 × 3人 × 6回
通信運搬費	12800	チラシ、案内文送料 80円 × 80箇所 × 2回
印刷製本費		
消耗品費	5200	紙代800円、ボールペン300円 封筒100円、 資料・教材保存メモリ4000円
賃借料	48000	会場費 2000円 × 24日
会議費	9000	500円 × 3人 × 6回
合計	207000	

2007年度事業計画書

1 事業実施の方針

06年度の事業を引き継ぎ、「情報格差克服のための事業」「ガイドボランティアの募集、訓練および派遣事業」をさらに発展させる。「人権擁護、平和維持、環境保全に関する講座等開催事業」は今年もテーマを絞り、企業関係者等向けの講座に力を入れる。「子どもの健全育成のための遊び場づくり事業」は川と食育をテーマに県外の人との交流を進める。「就業や社会参加が困難な社会弱者支援事業」は、昨年の日本郵政公社年賀寄附金助成による事業を引き継ぎ、新たに昨年支援対象外であった要支援者の支援にも取り組む。

2 事業の実施に関する事項

(特定非営利に係る事業)

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	支出見込額 (千円)
情報格差克服のための事業	社会的弱者に対するパソコン講習会の開催	2007年5月 6月 7月 9月 2008年2月 2008年3月	県内隣保館 公民館等	延べ125人	県内の受講 希望者延べ 1500人	600
人権擁護、 平和維持、 環境保全に 関する講座等 開催事業	県内各層 への集会、 研修会の開催	2007年4月 9月 10月 11月 12月	県内隣保館 公民館等	延べ60人	県内の 関心のある人 延べ1500人	700
ガイドボラン ティアの募集、訓練 および派遣事業	県内の人権関係施設、博物館等でもガイドボランティアの実施	訓練は10 月、 ガイド実施は 随時	水平社博物館 (御所市)等	延べ200人	延べ約5000 人	400
子どもの健全 育成のための 遊び場づくり事 業	「ひーとびーとの森」等を活用した自然体験と子育て支援活動	2007年5月 6月、7月 8月、10月 11月 2008年1月 3月	宇陀市榛原区	延べ150人	県内外の子 どもたちや子ども 会、児童館等 の関係者100 0人	700
人権相談事業	県内各層への 人権相談対応	随時	事務所および 県内隣保館、 公民館等	延べ10人	相談者延べ30 人	20
就業や社会参 加が困難な社 会弱者支援事 業	県内の困難を抱えた若者等のサポート、支援ネットワーク構築	随時	事務所および 県内カフェ、 公民館等	延べ50人	サポートを必要 とする個人と ネットワークを 構築する団体	680

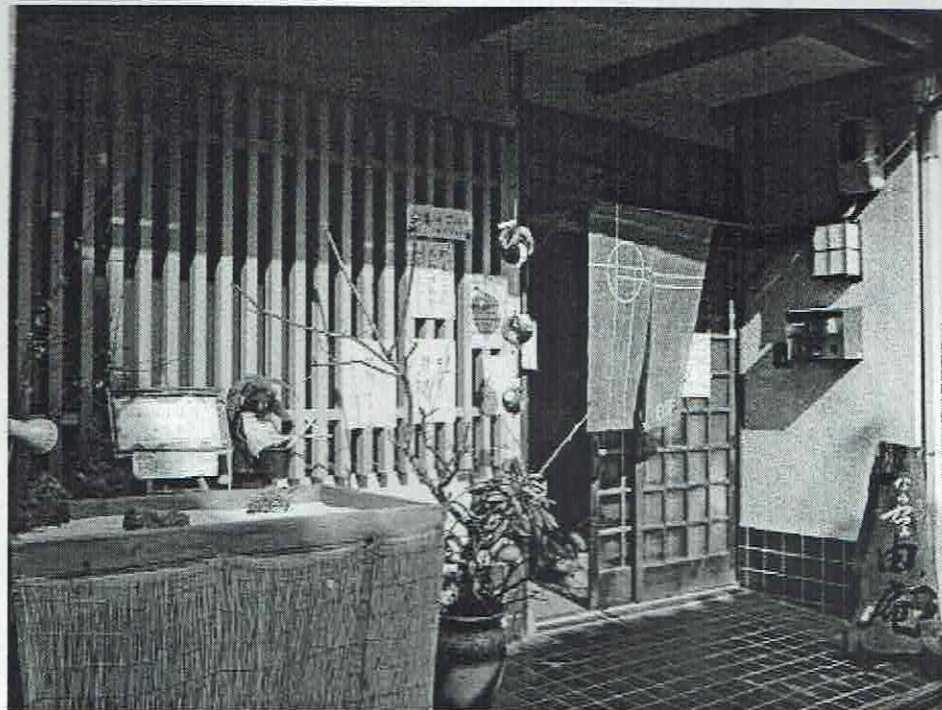
2007年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

2007年4月1日から2008年3月31日まで
(特定非営利活動法人 ほっとねっと)

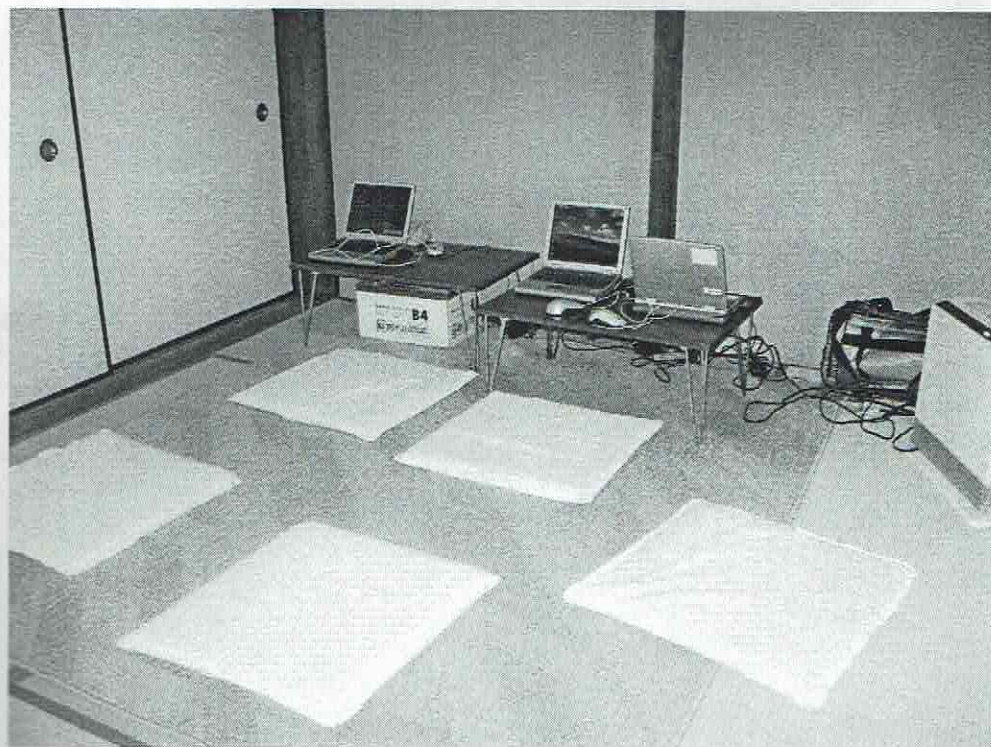
科目		金額	
I	経常収入の部		
	1 会費・入会金収入		
	入会金収入		
	正会員3人 × 5000円	15,000	
	会費収入		
	正会員66人 × 3000円	198,000	
	賛助会員10団体 × 10000円	100,000	
			313,000
	2 事業収入		
	情報格差克服のための事業収入	1,250,000	
人権擁護、平和維持、環境保全に関する講座等開催事業収入	750,000		
ガイドボランティアの募集、訓練および派遣事業収入	1,000,000		
子どもの健全育成のための遊び場づくり事業収入	400,000		
人権相談事業収入	0		
就業や社会参加が困難な社会弱者支援事業収入	287,000		
		3,687,000	
3 寄附金収入			
寄附金等	200,000		
		200,000	
	経常収入合計		4,200,000
II	1 経常支出の部		
	情報格差克服のための事業費	600,000	
	人権擁護、平和維持、環境保全に関する講座等開催事業費	700,000	
	ガイドボランティアの募集、訓練および派遣事業費	400,000	
	子どもの健全育成のための遊び場づくり事業費	700,000	
	人権相談事業費	20,000	
	就業や社会参加が困難な社会弱者支援事業費	680,000	
			3,100,000
	2 管理費		
	租税公課	70,000	
	雑給	50,000	
	消耗品費	300,000	
	修繕費	50,000	
	水道光熱費	30,000	
	旅費交通費	200,000	
	賃借料	120,000	
	通信費	120,000	
	雑費	20,000	
			960,000
	経常支出合計		4,060,000
	経常収支差額		140,000
	当期収支差額		140,000

※繰越差額は集計中(2007年5月20日現在)

2006年度事業「ニート・引きこもりなど困難を抱えた若者支援事業」の資料画像



主会場であるカフェ「由庵」の玄関。2階の貸しスペースを利用。「ならまち」の中にある。



パソコン・フリースペース。上記の「由庵」の2階で。パソコンの検定試験受験用の教材も用意。毎回、相談員も兼ねたパソコン講師が指導、助言。



パソコン・フリースペースだけでなく、就業に向けて、元当事者による経験談とカウンセリング（写真上）や、ラッピング講習（写真下）などの実務講習も不定期に開催。



関係者による支援場所、方法などについての会議。

この中で、相談会などの参加者の中には、いわゆる「ニート・フリーター」などという定義からは外れるような要支援者の存在と支援のあり方についての議論もされ、今年度からそれらの要支援者の支援も開始することを決めた。

(31.当団体にとっては該当しないため、省略いたします)

32. 収支の概要

	2005年度決算 (円)		2006年度見込 (円)		2007年度予算 (円)	
<収入の部>						
繰越金						
会費収入	488000		475000		475000	
事業収入	事業内容	金額	事業内容	金額	事業内容	金額
	情報格差克服事業	1780500	情報格差克服事業	1000000	情報格差克服事業	1000000
	人権研修事業	219410	人権研修事業	1100000	人権研修事業	1100000
	ガイド養成・派遣事業	1007775	ガイド養成・派遣事業	1000000	ガイド養成・派遣事業	1000000
	冒険遊び場事業	916580	冒険遊び場事業	500000	冒険遊び場事業	500000
			社会弱者支援事業	2500000	社会弱者支援事業	100000
	小計	3924265	小計	6100000	小計	3700000
補助金	寄付者・名目	金額	寄付者・名目	金額	寄付者・名目	金額
寄付金	寄附金等	296742	寄附金等	100000	寄附金等	100000
助成金	小計	296742	小計	100000	小計	100000
その他	内容	金額	内容	金額	内容	金額
	通帳利息	20				
合計	4709027		7575000		4275000	
<支出の部>						
事業費	事業内容	金額	事業内容	金額	事業内容	金額
	情報格差克服事業	849556	情報格差克服事業	600000	情報格差克服事業	600000
	人権研修事業	400000	人権研修事業	1100000	人権研修事業	1100000
	ガイド養成・派遣事業	238260	ガイド養成・派遣事業	400000	ガイド養成・派遣事業	400000
	冒険遊び場事業	1502620	冒険遊び場事業	800000	冒険遊び場事業	800000
			人権相談事業	100000	人権相談事業	100000
			社会弱者支援事業	3500000	社会弱者支援事業	3500000
	小計	2990436	小計	6500000	小計	6500000
管理費	763132		910000		910000	
合計	3753568		7410000		7410000	
<収支差額>						
収支差額	955459		165000		-3135000	
繰上り繰下						

2006年度事業計画書

1 事業実施の方針

06年度の事業をひきつぎ、「情報格差（デジタルデバインド）克服のための事業」「ボランティアの募集、訓練及び派遣事業」「子どもの健全育成のための遊び場づくり事業」をさらに発展させる。また、県との協働事業による「人権啓発・教育コーディネータ養成講座」（ボランティアの募集、訓練及び派遣事業）、日本郵政公社年賀寄付金助成による「若者の居場所づくり」（社会的弱者のためのネットワーク推進及び相互支援事業）等、新しい事業にも積極的に取り組む。

2 事業の実施に関する事項

1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数	支出見込額 (千円)
情報格差（デジタルデバインド）克服のための事業	社会的弱者に対するパソコン講習会の開催	2006年7月 10月、 12月、 2006年1月、 2月	県内隣保館、公民館等	延100名	県内の受講希望者延べ1500名	600
人権の擁護・平和の維持に関する集会、学習会及び講座等の開催事業	県内各層への人権研修会の開催	2006年 7月、8月 9月、10月 11月、12月	県内隣保館、公民館等	延30人	県内の関心のある人 延べ1000名	1100
ボランティアの募集、訓練及び派遣事業	県内の人権関係施設、博物館等でのガイドボランティアの実施	訓練は7月、 ガイド実施は 随時	水平社博物館（御所市）等	延200人	延べ約5000人	400
人権啓発についての相談事業	県内各層への人権相談対応	随時	事務所および県内隣保館、公民館等	延10人	相談者延べ30名	100
子どもの健全育成のための遊び場づくり事業	「ひーとびーとの森」等を活用した自然体験と子育て支援活動	随時	榛原町内	延100人	県内の子どもたちや子ども会、児童館等の関係者1000人	800
社会的弱者のためのネットワーク推進及び相互支援事業	県内の人権諸課題等に取り組む団体のサポート、ネットワーク推進	随時	事務所および県内公民館等	延30人	サポートやネットワークを必要とする団体個人	3500

奈中善 第7号
平成19年6月27日

特定非営利活動法人ほっとねっと
伊藤 満 様

社会福祉法人奈良県社会福祉協議会
奈良県中央善意銀行
頭取 荒井 善



平成19年度 奈良県中央善意銀行助成金払出について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、貴団体より申請のありました標記の件につきまして、審査のうえ、下記の金額を払出決定いたしました。
つきましては、別紙「請求書」に貴団体の振込先をご記入頂き、平成19年7月4日(水)までに下記宛ご提出下さい。
また、事業開始後、申請内容や予算に変更が生じた場合、所定の様式に従い変更申請してください。
なお、別紙「奈良県社会福祉協議会善意銀行預託金配分基準」第7条に基づき、所定の様式により事業終了後2ヶ月以内に事業完了報告書並びに決算報告書を提出して下さい。

記

1. 払出金額 ¥144,000
